



# 河合ようこ です

✉ shikai@kawai-yoko.jp

河合ようこ



## 住民の実現 要望が

### 新林・Aコープあとに 新店舗がオープン!



Aコープ前で成宮府議らと話を聞く(3月初め)

40年間暮らしを支えてきた新林センターAコープの「3月末閉店」の報に住民は困惑。私は店の前で聞いた「なくなったら困る」「ラクセーヌまで毎日行けへん」「何とかして」等の切実な声を成宮府議

と共に、市洛西担当区長に届け、Aコープの家主・JA全農京都に「次の店舗が来ることを住民が望んでいる」と伝えました。

住民にとって死活問題です。党議員が「閉店で買い物に困る人がないように対策を」と議会でも各局に求め、私は保健福祉局に、買い物客の宅配サービス等を行っている店への支援も求めました。住民有志が市長あてにとりくまれた署名は、1000筆をこえ、区長に提出されました。そして、ついに4月14日から、跡地に新店舗が開店しました。

安心して住み続けられるよう、引き続き、サブセンターの活性化、公共交通の充実など、西京区の皆さんと声を上げていきます。

### 保育・福祉職場の 抜本的な給与引き上げを



人の命を預かる仕事なのに給与が全業種平均より10万円も低い福祉職場。人手不足は深刻です。国の処遇改善予算は少なく、キャリアアップという条件付きで、給与格差を生む可能性があります。福祉はチームワークです。職員全員の抜本的な給与引き上げと経験に応じた昇給のしくみの創設、職員配置の改善を求めました。



### 市営保育所廃止は× 公の役割発揮を

障害児保育や途中入所、子育て支援で柔軟に対応できる公立保育所を次々廃止する京都市。

西京区には公立保育所がありません。医療的ケアが必要で入所に苦勞された方もあり、「公立があつたら…」と思わずにはいられません。希望の保育所に入れず困っている保護者が今年も多数おられます。東京都北区が待機児童対策で公立保育所を増設している例を示し、「他都市に学んで、公の役割を発揮すべき」と質しました。

## 就学援助

### 入学準備金は入学前に支給を!

小学・中学校入学時の準備にはランドセルや体操服、制服など出費がかさみます。就学援助の入学準備金の額は実態に合わないことと支給が入学後という問題があり、改善を求めてきました。

今年度から入学準備金は倍になります(右図)。入学前の支給について、京都市は検討の

方向で、私は一刻も早い実施と小学校入学前の支給もと求めました。国は「支給は小学校入学前も可能」と通知を出しています。京都市でも実施可能です。

私はまた、就学援助制度をもっと周知する工夫、教材費等の保護者負担を減らすため市の教育予算増額が必要と質しました。

	2016年度まで	→	2017年度から
小学校入学	20,470円	→	40,600円
中学校入学	23,550円	→	47,400円

改善され  
ました!



待って  
いました!

### 阪急嵐山線3駅 バリアフリー化完了!

上桂・松尾大社・嵐山駅の工事が3月末に完了。上桂・松尾大社駅は新たに改札口が設置されました。党として約10年前から阪急本社や京都市に要望し、地元自治会からも強い要望があつたものです。ご高齢の方は「生きて間にできてよかった」と、しみじみと語られています。



新しい改札口前。桂川・松尾地域の方たちと

### 歩きやすい歩道に

「歩道が狭く凸凹」「傾斜があつて車いすやシニアカーでは危険」など歩道の改善要望は多数。私は車いす利用者が困られている現場を土木事務所の職員と同行調査した経験から、歩道の調査と計画的改善を求めました。不要不急の大型事業予算より生活道路改善予算のさらなる増額が必要です。



車いすで危険な箇所を調査